

令和5年度 部活動に係る活動方針

あわら市金津中学校

ねらい

○学校教育活動の一環として、スポーツや文化に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養を目指すとともに、自主的・実践的な態度を育てる。

活動方針・活動計画

【活動方針】

活動に興味と関心をもつ生徒が教員等の指導の下に、自主的・自発的に取り組み、より高い技能や技術に挑戦する中で、その活動の楽しさや喜びを味わい、学校生活に豊かさをもたらす活動とする。

- ①必要に応じて部活動指導員等の外部指導者を学校が要請し、連携し指導を行う。
- ②活動中は必ず顧問、副顧問のいずれかがつく。できない場合は他の職員がこれに代わる。
- ③保護者の部活動懇談会について、令和4年度については新型コロナウイルス感染症対策として、書面における確認など部活動によって実施方法や連絡方法を検討した上で実施する。

【活動計画】

「部活動のあり方に関する方針」(H31.3市教委)から以下の通りとする。

- ①毎週、水曜日を休養日とする。但し、学校行事等で他の曜日を休養日にした場合は、この限りではない。
- ②定期テスト前7日間は、原則として活動を停止する。
- ③朝練習、延長練習は原則として行わない。
- ④週休日、祝日の活動については、週末は土日いずれかの活動とし、3時間程度とする。
- ⑤土、日、祝日、振替休日において、年間52日以上休養日を設ける。

保護者の願い

- 保護者の部活動への関心は高く、大会や練習試合には多くの保護者が応援に出向き、部活動運営にも協力的である。
- 部活動には、技術、技能の向上とともに、社会性や協調性の向上を求める意見が多い。

地域との連携

- 文化部においては、地域の要望に応じて、活動の成果発表を地域活動の一つとして行う。
- 生徒の技能向上のため、必要に応じて地域のスポーツ指導者の協力を得る。
- 準部活動では、地域スポーツクラブや指導者の協力を仰ぎ、普段の活動を行う。

指導力の向上

- 部活動顧問会議を実施し顧問同士による研修、校外研修の参加とその伝達を通じて、指導力の向上に積極的に努める。
- 生徒個人の能力に応じた指導を心がける。個人の能力を無視した過剰な練習を強制することは禁止する。

設置部活動

- <部活動>
 - 軟式野球部
 - ソフトボール部(女子)
 - サッカー部
 - 男女バスケットボール部
 - 女子バレーボール部
 - 男女ソフトテニス部
 - 吹奏楽部
 - 美術部
 - 報道部
- <準部活動>
 - バドミントン部
 - 卓球部
 - 剣道部
 - 水泳部
 - 陸上部
 - 新体操部

評価と改善

- PTA役員会等で部活動の現状や成果を共有し、課題や改善に向けての方策を協議する。
- 生徒、保護者の学校評価における部活動の項目分析を行う中で、部活動運営について改善を図る。

危機管理体制

- 事故等があった場合には速やかに応急処置を行い、必要に応じて受診する。同時に、養護教諭、校長、教頭と情報を共有する。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、活動前の体調チェック、活動前後の手洗いを徹底する。また、使った用具を消毒する。
- 熱中症対策として、こまめな水分塩分補給を行うとともに休憩時間を十分に確保する。